

ライフ・イノベーション分野
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和4年度

岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区（AAAシティおかやま）

[指定：平成25年2月、認定：平成25年11月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 (3.3+4)/2=3.7

3.7

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	評価指標(1) 介護保険給付費の抑制	58%	2
4	評価指標(2) 最先端介護機器等の活用による産業振興	107%	5
8	評価指標(3) 在宅高齢者の増加とQOLの向上	94%	4
9	評価指標(4) 生涯現役社会づくりの推進	50%	2

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 2 + 1 \times 0) / 4 = 3.3$

3.3

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 (4.3+4+4)/3=4.1

4.1

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.0

- ・インセンティブ事業やアウトカムの積極的な評価など興味深い取組が続けられているが、事業者の事務作業負担を軽減する工夫を行うことが取組の持続可能性や一層の拡大には重要だと思われる。
- ・個別領域において達成度合いに多少のバラツキはあるものの、全体としては十分な成果が上がっているように思われる。
- ・市民の実生活に直結した具体的な数値目標を使用しているため他所に比べ自己評価が低いですが、取組の内容はどれも充実しており、評価を高くした。継続的な取組を期待したい。
- ・評価指標(1)に関しては、目標値に未達であるものの、利用者の状態像改善を伴う介護給付費の抑制を目指す取組であるというその方向性を含めて評価したい。
- ・評価指標(4)は一定の成果を上げたものと評価する一方で、注目の高さを生かし今後の一層の推進に期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.0

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(3.7+4.1+4 \times 2) \div 4=4$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。